

ほ도가や市民活動センター 情報紙

2025.3 発行 =No.58=

OURS

いつものまちで新たな一歩

出会って、つながって、 ひろがる活動の輪！



- 目次
1. 保土ヶ谷で若者×地域！？ はじまりました！
区制100周年に向けて！ ～ほ도가やの今昔を伝える～
 2. 今 ほ도가や若い世代のリレーインタビュー！
 3. 昔 区民が語る「その時！保土ヶ谷で！」
 4. 講座&イベント情報



SNSも
見てね

HP



Facebook



Instagram



編集発行：ほ도가や市民活動センター（アワーズ）

〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川1-2-1

TEL: 045-334-6306 / FAX: 045-339-5120 MAIL: toiawase@hodogaya-ours.jp

保土ヶ谷で若者×地域！？ はじまりました！

保土ヶ谷区内のいろんなところで、若者と地域がつながる様々な試みが動き出しています。まちづくりの第一歩は、まずみんなが会うことから。世代を超えた交流の大切さが、あらためて見直されています。

若い世代の力を地域に！

～川島地域ケアプラザ～

ユースボランティアの活動！♪



ホームページ

ゲームスポーツ体験会



地域福祉の現場に若者のボランティアが参加する試みが進んでいます。川島東部地区社会福祉協議会の「川島文化祭2024」では、中・高校生のユースボランティアが「かわしまミニ運動会」というコーナーを企画し、当日は大勢の参加者でにぎわいました。若者らしい柔軟な発想で、参加者からの評価も高かったそうです。また、川島地域ケアプラザで12月に開催したゲームスポーツ体験会では、幼稚園からシニアまでさまざまな世代が和気あいあいと太鼓ゲームにチャレンジ。その参加者たちに高校生ボランティアがインタビューして、笑顔いっぱいの様子を地域の皆さんに発信しました。若者の得意分野で力を発揮してもらって、いろんな世代をつなげる関係を築いています。



かわしまミニ運動会

川島地域ケアプラザの地域活動交流コーディネーター濱田妙子さんは「多世代の交流はまだ発展途上ですが、人づての声掛けや友だちと一緒に参加できる仕組みが若者の参加促進に効果的だとわかってきました。1回関係が出来れば次につながるの、地道な取組を継続させたいです。」と手応えを語ってくれました。

2025年 夏頃開業予定！

～二つ台みーとみーとプロジェクト～

昼はシェアキッチンを備えた世代交流の場、夜は学習塾として使える地域交流拠点をつくります♪



Instagram

整備中の店舗跡地でボードゲームのイベントを開催



二つ台みーとみーとプロジェクトが本格的に始動！横浜国大に近い釜台・常盤台地区では、高齢化が進む商店街で精肉店の跡地を利用して学習塾とシェアキッチンを備えた多世代の居場所づくりプランが始動し、ヨコハマ市民まち普請事業（横浜市都市整備局）の助成対象に選ばれました。

地域の住民や学生など10代～70代の約30人が参加するプロジェクトでは、毎週末にイベントを実施して地域へ活動の浸透を図っています。プロジェクトの中心は横浜国大出身で、地域で暮らしたこともある塾の先生、西村実貴さん。焼き芋カフェや映画会、ボードゲームなど、子どもからシニアまで楽しめるイベントの企画には、若い学生の力が発揮されているようです。

西村さんは「学生は普通に暮らしているだけでは地域に出て行く機会がありません。イベント等をキッカケに、活動するうちに自然と交流が生まれます。今年の夏ごろには完成オープンする予定のシェアキッチンが世代を超えたみんなの居場所になるよう取り組んでいます。」と意欲的です。



釜台と常盤台をつなぐ二つ台商店会

区制100周年へ向けて！～ほどがやの今昔を伝える～

ほどがや 若い世代のリレーインタビュー！

今

第4回 こんにちは隣の〇〇さん！

室井 梨那 さん

Circular Yokohama



第31回横浜環境活動賞を受賞しました。

～自然や古いもの、まちに元々ある魅力を学びたい！～

サーキュラー・エコノミー

Circular Yokohamaで活躍する室井梨那さんは横浜生まれ＆横浜育ち。自然や健康を大切にする家庭で育ちました。横浜のまちづくりに携わりたいて、星川駅2階の星天qlay「qlaytion gallery」で活動しています。「サーキュラー・エコノミー」とは、「資源と経済と人の3つを循環させること」。あまり難しく考えず「循環を遊ぼう！」がモットーだそうです。

昨年暮れには、星天qlayのギャラリーで洋服交換会を開催しました。「古くなった洋服や本を新しい環境で生かす活動がわかりやすい」とのこと。他にもロスフラワーの壁掛けづくり、コーヒー粕アート体験など、活動は多彩です。

「古いものの良さを知らないと活かすことができない。顔の見える活動で人同士が繋がらないと、循環しない」と考える室井さんは、「私たちが知らないような守っていくべき文化を、シニア世代との交流を通じて学びたい」と言います。地域の活動団体との連携やイベントへの参加を模索し、「まちに元々ある魅力の再発見が、人を動かす力になる」と考えて、ウェブメディアでも発信しています。

そんな室井さんは保土ヶ谷を「都市と郊外とが程よく混ざって人の“なりわい”が見える風通しのいいまち。若者が何か始めるチャンスがある」と感じています。

「人のつながりが大事なので、星天qlayのギャラリーをたくさんの人に覗いてほしい。いろんな活動の場所に私たちを呼んでほしい」と、笑顔を輝かせます。

Circular Yokohamaの情報はこちら
<https://circular.yokohama/>



ホームページ

今回は室井さんが
紹介してくれた
お友だちに
バトンタッチします！



ロスフラワーの壁掛けづくり

区民が語る「その時！保土ヶ谷で！」



昔

教科書では教えてくれない「ほどがや」

100年前の震災復興まちづくり

旧東海道保土ヶ谷宿を未来へつなげるまちづくり協議会

～現代の生活につながっているまちの骨格～



まちかど博物館の店内は歴史資料がたくさん

「歴史を生かしたまちづくり」にもう40年も携わっているという近藤博昭さんに、今から100年前の保土ヶ谷はどんなだったのか聞きました。

「横浜市に編入されて保土ヶ谷区が誕生したのが昭和2（1927）年ですが、その4年前の大正12（1923）年に関東大震災が起きたんです。なので100年前の保土ヶ谷は、震災被害からの復興事業の真っ最中でした。」というのが近藤さんのお答えです。

「明治後半から工場地帯として発展した保土ヶ谷ですが、震災で富士紡績などの工場に大きな被害がありました。一方、市街地の大規模な火災を免れた保土ヶ谷は、壊滅的被害の横浜市中心部から避難民を受け入れました。」

近藤さんの家は、現在と同じ保土ヶ谷駅近くでお蕎麦屋さんを営んでいましたが、「大きな釜で炊き出しをしたと祖母から聞いたことがあります。」とのこと。「震災後、今の国道1号の新設整備や井土ヶ谷に通じる切通しの工事、神中鉄道（現・相鉄）など、現在のまちの骨格が作られました。住宅地や商店街も徐々に今の形に整備されました。桜ヶ丘の桜が植えられたのもその頃です。」

100年前の保土ヶ谷は、震災から立ち直って未来を築こうという活気に満ちていたようです。その頃のまちづくりが、現代の区民生活にもつながっています。近藤さんは、これからもまちの歴史を若い世代に伝えながら、未来のまちづくりに生かしていきたいと意欲を語ってくれました。

駅名が「程ヶ谷」から「保土ヶ谷」に変わったのは昭和6年（1931年）のこと



写真提供：近藤さん

◆講座&イベント情報◆

ほどがや市民活動センター「アワーズ」では
市民活動団体・生涯学習講座などのチラシも多数配架しています。ぜひお気軽にご来館ください！

『保土ヶ谷で学ぼう！』～墨と遊んでみよう～

～子どもたちと日本の文化をテーマに世代を超えて新しい気づきを見つけよう～

- 日時 3月29日(土) 9:30集合 10:00開始
- 会場 ほどがや市民活動センター「アワーズ」
- 参加費 無料
- 申込 QRコードから
- 主催 NPO法人 学舎こころ星
- 問合せ NPO法人 学舎こころ星 ホームページより



ホームページ



申込はこちら



2025年度ガイド養成講習会のご案内！～ガイド仲間を募集中～

- 日時 4月12日(土)～6月28日(土) 全6回講座
- 会場 かるがも3階 社会福祉協議会 会議室 (保土ヶ谷区川辺町5-11)
- 参加費 3,000円
- 申込 ホームページより/URL: <https://www.hodogaya-guide.com/>
- 主催 NPO法人 保土ヶ谷ガイドの会
- 問合せ 保土ヶ谷ガイドの会 ガイド部会部長 080-6807-8316



HP QRコード

ほどがやパソボラ「初めての初級講座」受講生募集

- 日時 5月分：2日(金), 9日(金), 12日(月), 16日(金), 20日(火), 23日(金)
6月分：3日(火), 6日(金), 13日(金), 17日(火), 20日(金), 23日(月)
7月分：1日(火), 7日(月), 9日(水), 15日(火), 18日(金), 23日(水)
- 時間 9:00～12:00 (1回3時間×6回) ■募集 各月8名(先着順)
- 会場 保土ヶ谷区川辺町5-11「かるがも」3階 ■参加費 2,000円(テキスト代含む)
- 申込 はがき、メールで氏名、年齢、住所、電話番号、マイパソコンの有無、希望日を記入。【毎月20日締切】
[宛先]〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町5-11「かるがも」3階 保土ヶ谷区福祉保健活動拠点内
メールボックスNo.19「ほどがやパソボラ」宛 mail:hsv14@sc.catv-yokohama.ne.jp
- 問合せ ほどがやパソボラ 佐藤 090-4412-4078 (月～土9:00-18:00)



「発見ウォーク」玉縄城址から大船フラワーセンターへ

- 日時 4月27日(日) 最終出発 9:30 解散予定 12:30
- 集合 JR線大船駅 南口改札口 解散場所 JR大船駅
- 申込 ホームページ、FAX (045-339-5120) 参加者全員の氏名(ふりがな)、住所、携帯、電話番号を明記してください。
- 参加費 500円
- 問合せ NPO法人 保土ヶ谷ガイドの会
- 詳細 <https://www.hodogaya-guide.com/>



HP QRコード

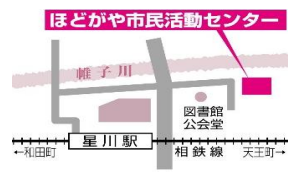


地域活動の情報を大募集！

ほどがや市民活動センター情報紙「OURS」は、年4回発行します。3月・6月・9月・12月(予定)
皆様の団体のイベント情報や活動の紹介などを掲載することができます。
詳しくはアワーズまでお問合せください。随時、配架先も募集しています。

★情報紙アワーズを配架いただいています！！

保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷区内の地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザ、保土ヶ谷区社会福祉協議会、地域子育て支援拠点こころ、保土ヶ谷図書館、保土ヶ谷公会堂、岩間市民プラザ、横浜市内各区の市民活動センター、横浜市社会教育コーナー、保土ヶ谷スポーツセンター、ほどがや国際交流ラウンジ、WEショップ星川店・天王町店、美容室カノン、ハッピースクエア、ふれあいショップクレヨン、かたばら・スペース・しばた、偕恵いわまワークス、星川郵便局、カフェ&フラワー ローズマリー、相鉄線(保土ヶ谷区内の駅)、旭区社会福祉協議会、旭区民文化センター サンハート、旭区市沢地区センター、ナイス住まいの情報館、JR保土ヶ谷駅、NPO法人ぎんがむら、かながわアートホール、保土ヶ谷公園管理事務所、帷子番所、狩場緑風荘、川島町公園こどもログハウス、瀬戸ヶ谷スポーツ会館、かながわ県民活動サポートセンター、かながわコミュニティカレッジ、横浜市青少年育成センター、横須賀市生涯学習センターまなびかん、イオン天王町ショッピングセンター、横浜市民協働推進センター、YADORESI、(順不同)



開館時間 ※駐車場はありません
・月曜日～土曜日 9:00～21:00
・日曜日/祝日 9:00～17:00
・休館日 3/17・4/21・5/19